

Press Release

「平成24年度 生命保険に関する全国実態調査（速報版）」まとまる

（公財）生命保険文化センター（代表理事・村井博美）では、「平成24年度 生命保険に関する全国実態調査（速報版）」をまとめました。

この調査は、一般家庭における生命保険の加入実態ならびに生命保険・生活保障に対する考え方を把握することを目的として、昭和40年以降3年ごとに実施している調査です。

《今回の主な調査結果のポイントは次のとおりです。》

- 生命保険（個人年金保険を含む）の世帯加入率は90.5%
- 民保加入世帯の医療保険・医療特約の世帯加入率は92.4%
- 今後増やしたい生活保障の準備項目は「世帯主の老後の生活資金の準備」が最も多く28.3%
- 直近加入契約の保険種類のうち遺族保障機能を主目的とした生命保険の割合は55.1%
- 直近加入契約の加入チャネルは「生命保険会社の営業職員」が最も多く68.2%
- 直近加入契約の加入チャネルに対して「満足」（88.3%）が4.4ポイント増加

詳細は、次ページ以降をご参照ください。

〈調査要領〉

- （1）調査地域 全国（436地点）
- （2）調査対象 世帯員2人以上の一般世帯
- （3）回収数 4,063
- （4）調査時期 平成24年4月5日～5月20日

〈回収サンプルの属性〉

	前回調査 (平成21年)	今回調査 (平成24年)
世帯主年齢 (平均；歳)	56.3	56.7
世帯主年齢65歳以上の割合 (%)	32.6	33.3
妻の年齢 (平均；歳)	53.5	53.8
妻就労世帯の割合 (%)	38.6	41.1
同居家族人数 (平均；人)	3.4	3.3
家族人数3人以下の割合 (%)	57.7	58.8
世帯年収 (平均；万円)	613.8	588.9
世帯年収300万円未満世帯の割合 (%)	16.7	18.0

《今回の主な調査結果は次のとおりです。》

●生命保険（個人年金保険を含む）の世帯加入率は90.5%

生命保険（個人年金保険を含む）の世帯加入率は全生保で90.5%（前回90.3%）となっている。これを機関別にみると、民保78.4%（前回76.2%）、簡保21.5%（前回30.9%）、JA 11.9%（前回11.8%）、生協・全労済28.5%（前回28.8%）となっている。前回と比較すると、民保で2.2ポイント増加している。（図表1）

図表1 生命保険（個人年金保険を含む）の世帯加入率

(%)

	全生保	民保	簡保	JA	生協・全労済
平成24年	90.5	78.4	21.5	11.9	28.5
平成21年	90.3	76.2	30.9	11.8	28.8

*全生保＝民保（かんぽ生命を含む）、簡保、JA、生協・全労済の計

●民保加入世帯の医療保険・医療特約の世帯加入率は92.4%

民保に加入している世帯（かんぽ生命を除く）の特定の保障機能を持つ生命保険や特約の世帯加入率は、「医療保険・医療特約」が92.4%（前回92.8%）、「ガン保険・ガン特約」が62.3%（前回59.5%）、「通院特約」が43.8%（前回42.2%）となっている。前回と比較すると、「ガン保険・ガン特約」が2.8ポイント増加している。（図表2）

図表2 民保の特定の保障機能を持つ生命保険の世帯加入率

(%)

	平成21年	平成24年
医療保険・医療特約	92.8	92.4
ガン保険・ガン特約	59.5	62.3
通院特約	42.2	43.8
特定疾病保障保険・特定疾病保障特約	41.0	43.4
特定損傷特約	29.4	29.3
疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約	16.2	17.9
介護保険・介護特約	13.7	14.2

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

●今後増やしたい生活保障の準備項目は「世帯主の老後の生活資金の準備」が最も多く28.3%

世帯における生活保障の準備項目の中で、今後数年間のうちに増やしたいものを尋ねたところ、「世帯主の老後の生活資金の準備」が28.3%で最も多く、次いで「配偶者の老後の生活資金の準備」24.3%、「世帯主が万一の場合の資金準備」21.1%となっている。(図表3)

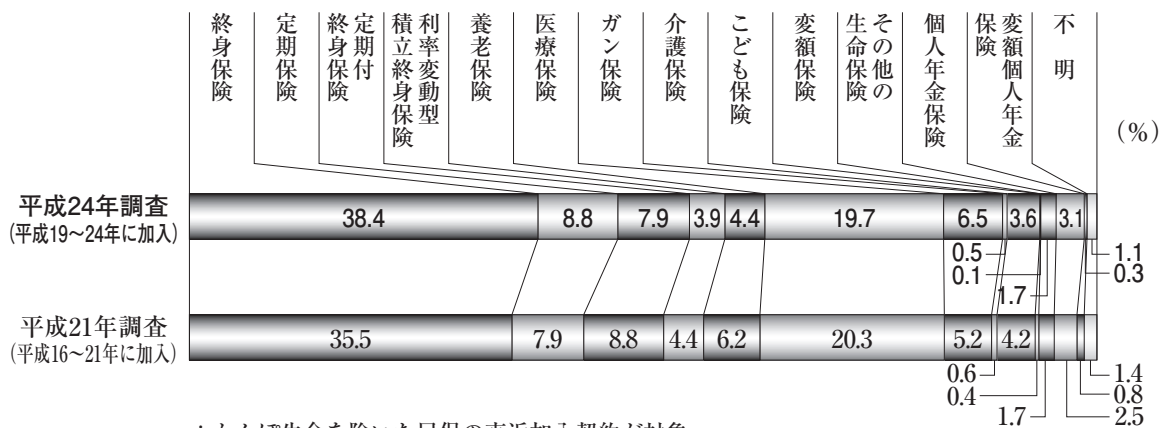
図表3 今後増やしたい生活保障準備項目（複数回答）

	世帯主が万一の場合の資金準備	世帯主の病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	世帯主の老後の生活資金の準備	世帯主が病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	世帯主が要介護状態となった場合の介護資金の準備	配偶者が万一の場合の資金準備	配偶者の病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	配偶者の老後の生活資金の準備	配偶者が要介護状態となった場合の介護資金の準備	配偶者が病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	子どもが万一の場合の資金準備	子どもの病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	子どもの老後の生活資金の準備	子どもが要介護状態となった場合の介護資金の準備	子どもが病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	その他	特になし	不明
平成24年	21.1	15.7	28.3	20.6	19.5	17.3	14.2	24.3	18.0	14.4	13.3	12.7	7.6	6.9	9.2	0.5	39.4	10.7

●直近加入契約の保険種類のうち遺族保障機能を主目的とした生命保険の割合は55.1%

直近に加入した民保（かんぽ生命を除く）の保険種類は、「終身保険」が38.4%（前回35.5%）と最も多く、次いで「医療保険」19.7%（前回20.3%）、「定期保険」8.8%（前回7.9%）となっている。このうち遺族保障機能を主目的とした「終身保険」、「定期保険」、「定期付終身保険」の割合は55.1%を占めている。(図表4)

図表4 直近加入契約（民保）の保険種類



*かんぽ生命を除いた民保の直近加入契約が対象

●直近加入契約の加入チャネルは「生命保険会社の営業職員」が最も多く68.2%

直近に加入した民保（かんぽ生命を除く）の加入経路（加入チャネル）は、「生命保険会社の営業職員」が68.2%（前回68.1%）と最も多く、次いで「通信販売」8.8%（前回8.7%）、「保険代理店の窓口や営業職員」6.9%（前回6.4%）となっている。

前回と比較すると、「インターネットを通じて」と「銀行を通して」がそれぞれ1.6ポイント増加している。（図表5）

図表5 直近加入契約（民保）の加入チャネル

	生命保険会社の営業職員	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	通信販売	インターネットを通じて	テレビ・新聞・雑誌などを通じて	保険代理店の窓口や営業職員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して	証券会社の窓口や営業職員	勤め先や労働組合等を通じて	生命保険会社の窓口	郵便局の窓口や営業職員
平成24年調査 (平成19~24年に加入)	68.2	53.0	15.2	8.8	4.5	4.3	6.9	4.3	4.2	0.1	3.2	2.5	2.1
平成21年調査 (平成16~21年に加入)	68.1	52.5	15.7	8.7	2.9	5.7	6.4	2.6	2.6	0.0	3.0	1.9	2.9

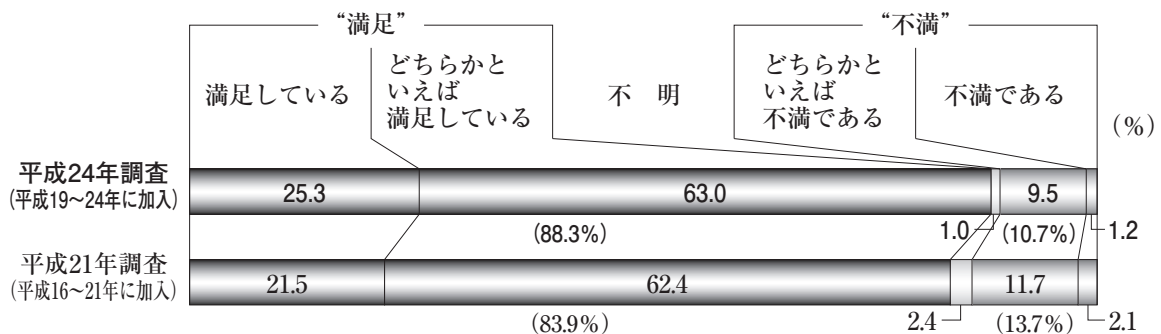
*かんぽ生命を除いた民保の直近加入契約が対象

●直近加入契約の加入チャネルに対して「満足」(88.3%)が4.4ポイント増加

直近に加入した民保（かんぽ生命を除く）の加入経路（加入チャネル）に対する満足度は、「満足」(“満足している”と“どちらかといえば満足している”の合計)が88.3%（前回83.9%）、「不満」(“不満である”と“どちらかといえば不満である”の合計)が10.7%（前回13.7%）となっている。

前回と比較すると、「満足」が4.4ポイント増加している。（図表6）

図表6 直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度



*かんぽ生命を除いた民保の直近加入契約が対象

以上